


事業概要【地域の資源と連携した「SDGs未来都市」の実現～持続可能な未来のために～事業】

推進当初

申請者	広島県東広島市	初回採択回	令和3年度第1回募集
事業計画期間	R3-R7年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	211,395千円 (36,690千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	コンパクトシティ、まちの賑わいの創出、 連携中枢都市等のまちづくり分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境」をキーワードとした持続可能な社会の構築 ・「SDG s」をキーワードとしたイノベーションの創出の仕組みづくり 		
事業概要・ 主な経費 <small>※経費内訳はR7年度事業費</small>	<ol style="list-style-type: none"> 1 「環境」をキーワードとした持続可能な社会の構築 <ul style="list-style-type: none"> ・食品リサイクルループの啓発（委託料）1,248千円 ・事業系生ごみのたい肥化（補助金）3,693千円 ・里山資源マイスター養成研修（委託料）1,852千円 ・環境に配慮した社会システムの構築推進経費（報償費等）379千円 2 「SDG s」をキーワードとしたイノベーションの創出 <ul style="list-style-type: none"> ・市民への認知度向上（委託料等）876千円 ・SDGsパートナーの交流の場創出（委託料等）2,595千円 ・大学と連携したイノベーションの創出に資する共同研究等（負担金）26,047千円 	 <p>SDGsパートナーの交流の場の様子</p>	
KPI <small>※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値</small>	<ol style="list-style-type: none"> ①生産寄与直接効果額（+335百万円） ②SDGsパートナー数（+615団体） ③SDGsパートナー交流の場参加数（+250団体） ④市内の温室効果ガス総排出量（-306.5千 t -CO₂） 	関連URL	（交付金の具体的使途・実施体制） https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihouseisei/25145.html （効果検証） https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihouseisei/25124.html

事業概要【若者が活躍するしごと創出と地元定着促進事業】

推進当初

申請者	広島県東広島市	初回採択回	令和4年度第1回募集
事業計画期間	R4-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	531,220千円 (87,806千円)
事業タイプ・類型	地方創生推進タイプ・横展開型	事業分野	ローカルイノベーション (しごと創生)
目的 (効果)	中小企業等への伴走型相談支援を実施することで、企業の魅力向上を図り、若者にとって魅力ある仕事づくりの促進に繋げていくとともに、DX人材の活用により企業のデジタル化を促進しながら、大学生に対する就職先としての企業の認知の向上を目指す。大学生がデジタル技術を習得したり、技術を実践する場を企業が提供するなどして、大学生と企業との関わりを広げていく。実証事業に基づき、大学周辺等へのサテライトオフィス誘致に繋げていく。		
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>○若者にとって魅力的な仕事づくり (委託料等) 43,930千円 Hi-Bizによる中小企業への伴走型支援を実施することで仕事づくりや魅力づくりに繋げる。</p> <p>○若者の市内企業への就職促進 (補助金) 等 14,902千円 多様な人材と企業との接点づくり、企業PRや市内企業の認知度向上を図る。</p> <p>○大学発ベンチャー支援 (委託料) 18,974千円 東広島イノベーションラボミライノ+による創業起業支援等</p> <p>○サテライトオフィス誘致 (補助金) 10,000千円 賃貸等で新たに市内に事業所を開設する指定業種の法人に対し、開設費用のイニシャルコスト30%、ランニングコスト50% (イニシャルコストは初年度のみ交付対象) を上限額: 500万円/年 (最大3年間) で補助する。</p>		
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<p>①市内大学の地元企業就職率 (+3.38%)</p> <p>②Hi-Bizにおける相談者のうち売上向上事業者の割合 (+62.0%)</p> <p>③サテライトオフィス誘致件数 (+10件)</p>	関連URL	<p>(交付金の具体的使途・実施体制)</p> <p>https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihouseisei/25145.html</p> <p>(効果検証)</p> <p>https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihouseisei/25124.html</p>



事業概要【MOD（Mobility Oriented Development（新モビリティ指向型都市開発）に向けた自動運転・隊列走行BRT社会実装推進事業】

申請者	広島県東広島市					初回採択回	令和7年度第1回募集
事業計画期間	R7-R9年度					期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	329,948千円 (142,008千円)
経費の種類	ソフト事業	✓	拠点整備事業		インフラ整備事業	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	<ul style="list-style-type: none">都市の基軸交通としての自動運転・隊列走行BRT（Bus Rapid Transit：バス高速輸送システム）の導入により、自家用車から公共交通への転換を図る。利便性の高い公共交通の導入を契機とし、合意形成や社会受容性の向上、MaaS（Mobility as a Service）を展開し、それらを持続的に利用できる「新モビリティ指向型都市」へのリ・デザイン（再構築）により、モビリティを活用して居住・来訪者などのあらゆる人が自由に動き、交流がより活発に働き、地域の活力を向上させる好循環を生み出す「新モビリティ志向型開発」を展開することで、まちづくりと地域活性へ寄与し、地方創生の実現と持続可能なまちづくりを展開する。						
事業概要・ 主な経費 ※経費内訳はR7年度事業費	<p>【ソフト事業経費】</p> <ul style="list-style-type: none">① 自動運転・隊列走行BRTの導入検討・プロジェクトマネジメント支援（委託料） 35,838千円・走行空間検討（委託料） 12,000千円② 新モビリティ指向型都市に向けた市民理解や社会受容性の向上・拡大を図る取組・モビリティワークショップ開催（委託料） 9,570千円・市民意識調査（委託料） 4,400千円③ ①②を包摂するMaaSの推進・MaaSプラットフォーム構築・実験展開支援（委託料） 12,000千円・ICOCA基盤構築（負担金） 22,000千円・ICOCA車載器搭載（補助金） 46,200千円					 <p>自動運転・隊列走行BRTのイメージ（令和6年時点）</p>	
KPI ※カッコ内の数値は最終事業年度までの「KPI増加分の累計」の目標値	<ul style="list-style-type: none">①バス利用者数（+22,066人/6カ月）②JR西条駅定期券乗降数（+266人/日）③デジタル企画乗車券でのバス乗降割合（+20%）④BRTの導入希望度（+19.6%）					関連URL	<p>（交付金の具体的使途・実施体制）</p> <p>https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihousousei/25145.html</p> <p>（効果検証）</p> <p>https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihousousei/25124.html</p>

事業概要【生活価値創出拠点「福富みらいベース」の整備活用】

旧制度（拠点整備）

申請者	広島県東広島市	初回採択回	令和6年度第2回募集
事業計画期間	R6-R8年度	期間中の総事業費 (カッコ内はR7年度事業費)	608,823千円（165,609千円）
事業タイプ	地方創生拠点整備タイプ（当初予算分）	事業分野	まちづくり分野
目的（効果）	里山資源の新たな活用、デジタル機器を活用したものづくりの推進、デジタルの学びの場の提供や、ものづくりの文化を次世代に伝えていくためにデジタル教育と自然資源を組み合わせる取り組みを行うなど、豊かな自然と現代のテクノロジーとの融合を図る生活価値創出拠点として、地域の廃校を改修整備・再活用する。「生活デザイン・工学研究所」により、拠点到集う人や企業の様々な活動を通じて、地域内外の交流促進・魅力発信等を図り、交流・関係・移住人口の増加につなげ、持続可能な地域づくりを目指す。		
整備内容・ 利活用方策	<p>コミュニティスペースやテナントオフィス・コワーキングスペース、学び、宿泊等の機能を持たせた拠点「福富みらいベース」として廃校を改修整備し、地域内外の人が気軽に集える場とする。学びスペース（デジタル・エネルギー・ものづくり）には、デジタルファブリケーション機器等を設置し、里山ならではのデジタル教育を受けられる、新たなものづくりができる環境を整えるとともに、藻類培養実証研究やEVなどエネルギーの多様性についてのパネル・藻類の実物展示のほか、藻類からの燃料抽出体験等を行うことで、利用者増加や魅力向上を図る。</p> <p>オンライン予約システムやスマートロックシステムを整備することで、利便性の向上につなげる。また、本施設の利用者等の移動を支えるため、地域の実情に合ったモビリティサービスを検討する。</p> <p>○施設整備等（設備整備・用地造成を除く）の内容</p> <p>【建築物本体工事】設計費 14,000千円、工事請負費 76,841千円、工事監理費 7,050千円</p> <p>【建築物と不可分な設備工事】電気設備・機械設備工事費 67,718千円</p>		
KPI	<p>①福富地域の人口（+0人）</p> <p>②福富みらいベース利用者数（+12,000人）</p> <p>③デジタル教育プログラム参加者数（+1,500人）</p> <p>④テナントオフィス稼働率（+100%）</p>		



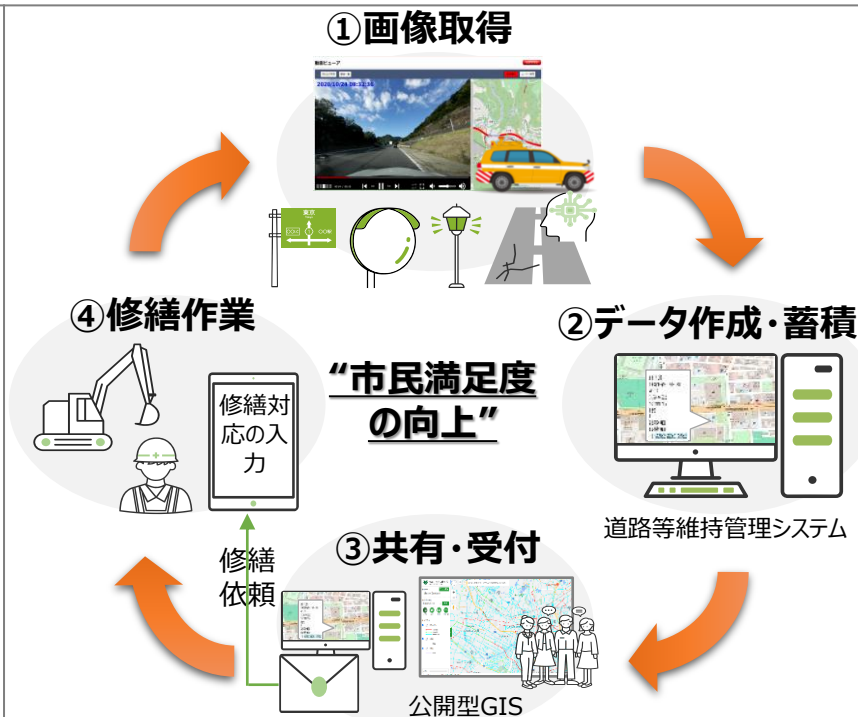
（交付金の具体的使途・実施体制）
https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihousousei/25145.html
（効果検証）
https://www.city.higashihiroshima.lg.jp/soshiki/somu/1_1/chihousousei/25124.html

関連URL

※カッコ内の数値は供用開始年度から5か年分の「KPI増加分の累計」の目標値

事業概要 【道路維持管理デジタル活用事業】

自治体名	広島県東広島市	人口	190,800人	事業費	40,000千円
事業概要	市民等からの通報や要望の多い道路施設の管理に関する課題に対して、デジタル技術（ドライブレコーダー等から得られた映像解析）を活用した「道路附属物（照明、標識、カーブミラー等）の位置情報取得」及び「路面性状調査による対処箇所の抽出」を行う。その結果、不具合箇所の早期発見・対処により市民等からの通報件数及び問合せ対応時間を低減させるとともに、道路管理に対する市民満足度の向上を図る。				
具体サービス	<p>【道路附属物、路面性状判定支援サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ドライブレコーダー等により画像を取得 ・ 画像解析による道路附属物（道路照明、標識、カーブミラー）の位置情報取得 ・ 画像解析による舗装路面状況のAI解析 ・ 既存の公開型GIS（ひがしひろしまっぴ）による道路附属物の位置の公開 ・ 既存の道路等維持管理システム（令和5年度補正予算デジタル田園都市国家構想推進交付金を活用して導入）との連携（データ蓄積）による予防保全への転換（交通支障の低減、市民通報の低減） <ul style="list-style-type: none"> →既存の道路等維持管理システムを活用した舗装路面の修繕計画立案 →既存の道路等維持管理システムを活用した早期修繕の実施 				
主なKPI	<p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①道路附属物位置情報取得が完了した市道延長割合 ②路面性状判定により抽出された要確認箇所のうち点検・対処が完了した箇所の割合 ③市民通報サービスの通報件数 <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①道路附属物や舗装に関する市民通報件数の減少割合 ②市道管理に関する市民満足度 ③修繕業者への連絡時間の減少割合 				



事業概要 【私立保育施設運営・給付費請求、申請システム導入事業】

自治体名	広島県東広島市	人口	190,800人 R6.11.30現在	事業費	9,900千円
事業概要	本市では総合計画の、5 安心づくり中に「ICTを活用し保育士等の負担軽減・労働環境の改善を図る」と定めている。全国でも実績のある民間の私立保育施設を対象としたシステムの導入により市への運営費の請求や、加算の申請手続の事務負担の軽減を図る。これにより生まれた余裕により保育施設や市役所が保育サービス・関連業務に集中することができ、施設職員や入所児童のWell-being向上が期待できる。				
具体サービス	<p>【運営・給付費請求、申請システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「デジタル地方創生サービスカタログ」（保育所等業務のデジタル化）に記載の、保育所等業務のデジタル化のサービスを実装予定。 クラウド上で自治体と保育施設がデータを共有できることにより入所児童や金額の情報の入力時間を大幅に縮減可能。 従来の紙媒体の請求書をシステムを通した電子請求に置き換えることや、各手続きごとの申請に必要な添付書類のワンソニー化により利便性が向上。 市内の認可保育施設（保育所、認定こども園、幼稚園、小規模保育事業所）対象。今後、無償化の対象施設にも対応予定。 				
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）】 ・システムによる給付費等申請率				【アウトカム指標（成果指標）】 ・システムの満足度

事業概要 【いきいきこどもクラブ入所等管理システム事業】

自治体名	広島県東広島市	人口	190,800人	事業費	16,500千円
事業概要	<p>本市は市民ポータルサイトを活用し、子育てに関する諸手続きの電子化に努めているが、いきいきこどもクラブ（放課後児童クラブ）の入所手続きについては現状紙面による提出のみである。市民は、手書きでの申請書作成や窓口や郵送での提出が求められ手続きに時間を要し、職員は紙面で提出された申請書（約2,600）を、台帳に転記するなど負担が大きい。いきいきこどもクラブ入所等管理システムを公設の60か所のクラブに導入し、市民がいつでもどこでも申請や欠席連絡が行える環境を整え、職員による申請書の転記や封入封緘作業の軽減を図る。</p>				
具体サービス	<div> <div> <p>【いきいきこどもクラブ入所等管理システム】</p> <ul style="list-style-type: none"> 既設の市民ポータルサイト上に、本システム（サービス）を提供する。 <p>※市民ポータルサイトは、行政サービスにおけるDX推進を目的として、インターネットにより市民と市役所をつなぐデジタルの窓口機能となるシステム。基盤は、ServiceNowプラットフォームを活用。</p> <ul style="list-style-type: none"> いきいきこどもクラブ利用の保護者やこどもの基本情報（氏名や住所など）を登録・管理する。 基本情報等を予めプリセットさせた状態で、電子申請を行えるようにする。 申請された情報を、職員が審査し、審査結果を利用者へデジタルで通知を行う。 保護者からいきいきこどもクラブへの指導員へ欠席連絡が行えるようにする。 次年度の更新時には、前年度の情報を引き継いだ状態で、加入申込ができる。 本システムを通じ、保護者の接点を確保する。 </div> <div> </div> </div>				
主なKPI	<div> <p>【アウトプット指標（活動指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①電子申請の割合 ②決定通知のデジタルでの通知割合 </div> <div> <p>【アウトカム指標（成果指標）】</p> <ol style="list-style-type: none"> ①システム（サービス）に満足している人の割合 </div>				

事業概要（避難所環境改善事業）

自治体名	広島県東広島市		人口	190,800人	事業費	30,210千円
事業概要	避難所の環境改善を目的に、テント式パーテーション、簡易ベッド、物資倉庫、可搬式小型発電機及び移動式トイレを購入する。 移動式トイレは普通免許で牽引できるユニバーサルデザインとすることで、災害時に要配慮者に対応できる。また、屋外イベント等に派遣して合理的配慮の提供義務を果たすほか、同様のトイレを整備する近隣市と災害時やイベント時の相互利用を行う。					
購入する 資機材等の 内容	<div>○屋根付きパーテーションA 45基 267.3万円</div> <div>○屋根付きパーテーションB 73基 78.7万円</div> <div>○簡易ベッド 45台 123.8万円</div> <div>○可搬式小型発電機 16台 193.6万円</div> <div>○物資倉庫 9台 531.7万円</div> <div>○移動式トイレ 1台 1,716.0万円</div> <div>○移動式トイレ用バッテリー（ソーラーパネルセット） 2台 109.9万円</div>			<div><div>移動式ユニバーサル デザイントイレ</div><div>移動が容易で誰もが使いやすい トイレは、災害時のみならず平 時でも活躍の場が広い。</div><div>災害対応<div>・避難所派遣 ・被災他市応援派遣</div></div><div>平時活用<div>・本市イベント利用 ・他市イベント派遣 ・貸出業務委託（福祉事業所） 福祉作業所屋外活動 学校の遠足・社会科見学等</div></div><div>実働訓練・啓発事業</div><div>平時からの連携訓練</div><div>社会参加・就労支援</div><div>合理的配慮の拡大</div></div>		
主なKPI	【アウトプット指標（活動指標）※一つ以上】 ①移動式トイレのイベントでの利用件数			【アウトカム指標（成果指標）※一つ以上】 ①災害時のトイレの備えを行っている市民の割合		